



富士市文化財マップ

アじ知る

富士のふもとで文化財と生きるまちを創る

富士市



生
き
る
ま
ち

文化財と!



富士市教育委員会



『ふじ知る』は、皆さんに富士市の「文化財」を紹介するガイドブックです。

文化財とは、はるか昔から現在まで、ここに生きてきた人々が積み重ね守ってきた、歴史や文化を伝える「宝」です。

富士市ではこの「宝」（文化財）を未来へ残すために、「富士のふもとで文化財と生きるまちを創る」を目標とする「文化財保存活用地域計画」を作成しました。

この計画では、富士市の歴史や文化を「富士のふもとで」という言葉に続く7つの視点でみつめ、それぞれの視点に基づくストーリーを設定し、ストーリーごとに関連する文化財をまとまり（文化財群）としてとらえています。そうすることで、文化財の価値や魅力がさらに引き出され、文化財を保存し活用する取り組みが効果的に進むと考えています。

『ふじ知る』でも、7つの視点とそれに基づくストーリーごとに富士市の文化財を紹介していきます。小学校区ごとの一覧表や地図も載せているので、『ふじ知る』を手に、学区内にある文化財や、興味のあるストーリーを巡ってみてください。

紹介している文化財の一覧

番号は、次ページの地図および本文中の番号と対応しています。アイコンは7つの視点を示します。

吉原小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
001	沖田遺跡	市指定	6・10
002	国久保古墳	市指定	8
003	平家越	市指定	12
004	吉原宿	市指定	18
005	中古原宿	市指定	24
006	新吉原宿	市指定	24
007	左富士	市指定	25
008	岳南電車	市指定	27

今泉小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
001	沖田遺跡	市指定	6・10
008	岳南電車	市指定	27
009	沖田遺跡の準構造船	市指定	5
010	舟久保遺跡	市指定	9
011	和神神社	市指定	12
012	善得寺跡（善得寺公園）	市指定	14
013	太原雪斎の墓	市指定	14
014	大勧業禪師の墓	市指定	14
015	東泉院跡	国登録	14・28
016	吉原湊	市指定	15
017	依田橋村一里塚記念碑	市指定	18
018	左富士神社	市指定	25
019	義隆記碑	市指定	25
020	今泉の「ガマ」	市指定	26
021	岳南電車 本吉原駅	国登録	27

伝法小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
022	伊勢塚古墳	市指定	8
023	中原第4号墳	市指定	8
024	東平第1号墳	市指定	8
025	東平遺跡	市指定	9
026	三日月庵寺跡	市指定	9
027	西平第1号墳	市指定	9
028	中柙・中ノ坪遺跡	市指定	10
029	富知六所浅間神社	市指定	28
030	空襲で破壊された鳥居跡	市指定	31

神戸小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
031	今宮浅間神社	市指定	29

元吉原小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
004	吉原宿	市指定	18
008	岳南電車	市指定	27
016	吉原湊	市指定	15
032	庚申塚古墳	市指定	4
033	山の神古墳	市指定	4
034	三新田遺跡	市指定	6・11
035	天文堀跡	市指定	7
036	天文堀の碑	市指定	7
037	増田平四郎の像	市指定	7
038	吉原城（天香久山砦跡）	市指定	15
039	間宿・柏原	市指定	18
040	柏原一里塚跡	市指定	18
041	柏原遺跡	市指定	21
042	見付宿跡	市指定	24
043	元吉原宿	市指定	24

東小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
044	矢川上C遺跡	市指定	1
045	的場遺跡	市指定	3
046	船津古墳群	市指定	5
047	稲荷塚古墳	市指定	5
048	船津Lー第62号墳	市指定	6

須津小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
008	岳南電車	市指定	27
045	的場遺跡	市指定	3
049	古木戸B遺跡	市指定	1
050	宮添遺跡	市指定	3・11・21
051	浅間古墳	市指定	4
052	須津古墳群	市指定	5・6
053	琴平古墳	市指定	5
054	千人塚古墳	市指定	5
055	天神塚古墳	市指定	21

吉永第一小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
001	沖田遺跡	市指定	6・10
008	岳南電車	市指定	27
056	東坂古墳	市指定	4
057	祢宜ノ前遺跡	市指定	11
058	寒竹浅間神社	市指定	12・20・29
059	医王寺経塚	市指定	12
060	赫夜姫遺跡	市指定	17
061	竹塚塚	市指定	28
062	竹塚公園	市指定	28
063	白隠禪師の墓	市指定	28
064	囲いの道	市指定	29
065	見返し坂	市指定	29
066	野村一郎をたたえる碑	市指定	30

吉永第二小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
067	峰山遺跡	市指定	1

原田小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
001	沖田遺跡	市指定	6・10
008	岳南電車	市指定	27
060	赫夜姫遺跡	市指定	17
064	囲いの道	市指定	29
068	実円寺西第1号墳	市指定	9
069	宇東川遺跡	市指定	10・16
070	鐘ヶ淵	市指定	12
071	呼子坂	市指定	12
072	飯森浅間神社	市指定	12・29
073	原田製紙（跡地）	市指定	27
074	滝川神社	市指定	28

大淵第一小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
075	内山治山の碑	市指定	26
076	金原明善翁らの大規模植林地	市指定	26
077	大淵の茶畑	市指定	30

富士第一小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
078	間宿・本市場	市指定	18
079	本市場一里塚跡	市指定	18

富士第二小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
080	帰郷堤	市指定	23

田子浦小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
016	吉原湊	市指定	15
081	石水門の石碑	市指定	7
082	海嘯碑	市指定	25

岩松小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
080	帰郷堤	市指定	23
083	水神社の常夜燈	市指定	19
084	備前堤	市指定	23
085	雁堤	市指定	23
086	護所神社	市指定	23
087	水神社	市指定	23
088	不盡河帰郷堤之碑	市指定	23

鷹岡小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
089	曾我寺（福泉寺）	市指定	13
090	曾我八幡宮	市指定	13
091	夜明けの像	市指定	26

広見小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
092	横沢古墳	市指定	8
093	友好の像 ブチャーチン提督と日本の漁夫	市指定	22

丘小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
092	横沢古墳	市指定	8
094	がっかり橋	市指定	13
095	虎御前の腰掛石	市指定	13

富士見台小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
068	実円寺西第1号墳	市指定	9

富士南小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
080	帰郷堤	市指定	23
096	ティアナ号の錨	市指定	22
097	富士飛行場跡	市指定	31
098	開拓記念碑	市指定	31

天間小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
099	天間沢遺跡	市指定	2・16
100	天間代山遺跡	市指定	10
101	曾我の馬蹄石	市指定	13

岩松北小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
084	備前堤	市指定	23
085	雁堤	市指定	23
102	高德坊遺跡	市指定	3
103	貫相寺	市指定	15
104	岩本の茶畑	市指定	30
105	燃料庫の地下壕	市指定	31

富士中央小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
106	被爆二世のクスノキとアオギリ	市指定	31

青葉台小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
107	一色Dー第35号墳	市指定	9

富士川第一小学校区

番号	掲載文化財	指定	ページ
108	木島遺跡	市指定	2
109	妙見古墳群	市指定	10
110	破魔射場遺跡	市指定	11・17
111	駿河山王遺跡	市指定	17
112	間宿・岩淵	市指定	18
113	岩淵の一里塚	市指定	18
114	旧小休本陣常盤家住宅	市指定	18
115	富士川渡船場常夜燈	市指定	19
116	角倉了以紀功碑	市指定	19
117	岩淵鳥居講	市指定	19
118	愛宕山の地下壕	市指定	31

富士川第二小学校区

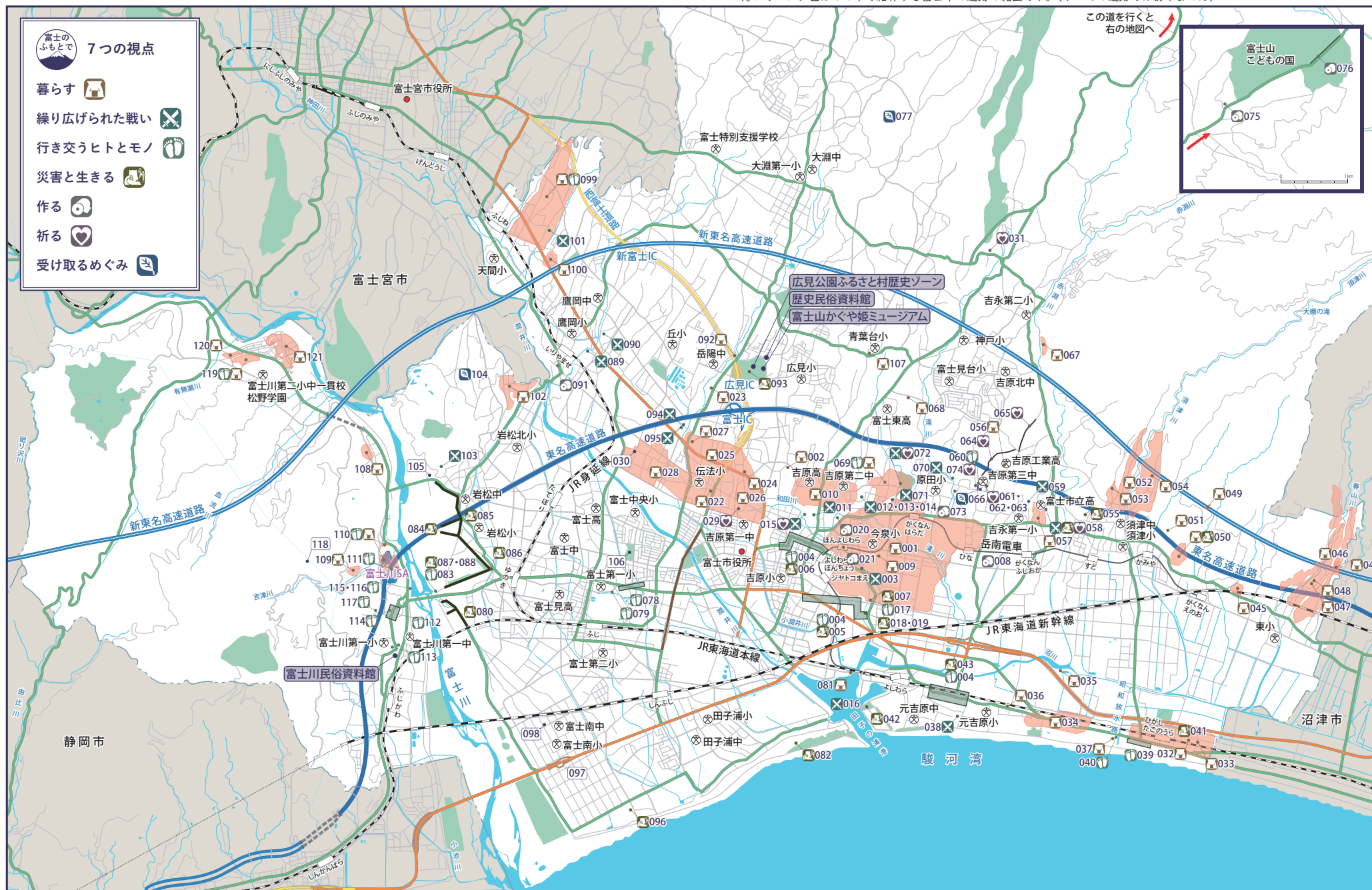
番号	掲載文化財	指定	ページ
119	浅間林遺跡	市指定	2・11・16
120	清水岩の上遺跡	市指定	3
121	中野遺跡	市指定	3

複数の学区にかかるものや、学区の境に近いものは、重複して表示しています。

紹介している文化財の場所

数字は、前のページのいちらんひょう

数字は、前のページの一覧表および本文中の番号と対応しています。
薄いオレンジ色はこの本で紹介する富士市の遺跡の範囲です。(すべての遺跡ではありません)



はじめに
紹介している文化財の一覧
紹介している文化財の場所
もくじ

このアイコンがあるものは博物館・資料館で見られます！



富士山かぐや姫
ミュージアムで
展示中



歴史民俗
資料館で
展示中



広見公園ふるさと村
歴史ゾーンで
展示中

暮らし



- 富士市に人が住み始めたころ ～旧石器時代…………… 1
- 豊かさを増した定住生活 ～縄文時代…………… 2
- 米づくりとリーダーの出現 ～弥生時代…………… 3
- 浮島ヶ原周辺の古墳文化…………… 4
- 浮島ヶ原周辺の生業と景観…………… 6
- 富士山南麓の古墳文化とその後の地域開発…………… 8

繰り広げられた戦い



- 頼朝と曾我兄弟～源平合戦前後の富士地域…………… 12
- 今川・武田・北条の戦い…………… 14

行き交うヒトとモノ



- 文化が交わる縄文時代…………… 16
- 近世東海道と宿場・間宿…………… 18
- 富士川舟運と渡船…………… 19

災害と生きる



- 噴火と共に生きた人々…………… 20
- 安政東海地震と幕末の国際交流…………… 22
- 暴れ川・富士川を治める…………… 23
- 海が迫る！高潮と宿場町…………… 24

作る



- 紙のまち富士…………… 26

祈る



- 富士山信仰とかぐや姫…………… 28

受け取るめぐみ



- 富士の茶…………… 30

- 富士市の戦争を伝える場所…………… 31
- 富士市の博物館・資料館…………… 32
- おわりに……………



暮らし

富士市に人が住み始めたころ ～旧石器時代

富士市の東、愛鷹山のふもとで、およそ3万3000年前から、人は動物を捕まえるための狩りや、狩りのための石器作りをしていました。このころ、まだ土器は使われておらず、定住する家もなかったようです。

【写真提供】富士市

067

今日の夕飯のために！



峰山遺跡の旧石器

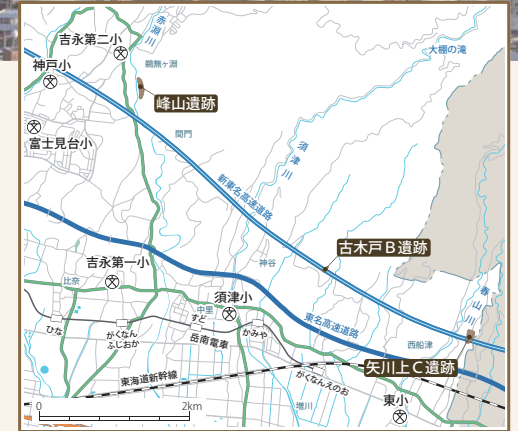
●みねやまいせきのきゅうせつき

狩りに使う槍の先につける「ナイフ形石器」、動物の肉を切る道具「スクレイパー」などが出土。



ナイフ形石器

スクレイパー



044

いい仕事してます



矢川上C遺跡の旧石器

●やがわうえしーいせきのきゅうせつき

黒曜石のふちを細かく打ち割って、するどくさせた「尖頭器」。



049

今日はここが作業場



古木戸B遺跡の旧石器

●ふるきどびーいせきのきゅうせつき

割れ目がピッタリと合う石の破片は、ここで石器を作った証拠。

【所蔵：静岡県埋蔵文化財センター】



割れ目が合う石の破片

ナイフ形石器

細石器

【所蔵：静岡県埋蔵文化財センター】

世紀	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良		平安		鎌倉	室町	桃山	安土	江戸	明治	昭和	平成	令和	

ここ！

豊かさを増した定住生活 ～縄文時代

土器を使い、定住するようになった縄文時代。食べるものや調理方法が変わり、子孫繁栄や狩りの成功などの願いを込めたおまじないの道具も作られるようになりました。

099 富士市を代表する縄文時代の一大集落 天間沢遺跡の縄文土器・顔面把手・石器

●てんまざいせきのじょうもんとき・がんめんとして・せつき

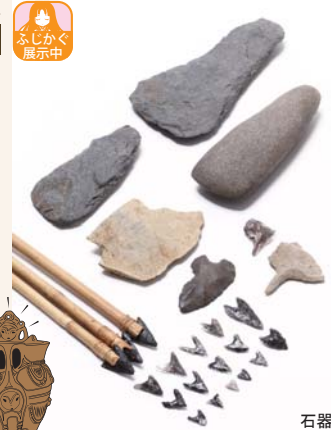


縄文土器

(左) いろいろな文様の縄文土器。保存や調理に大活躍！
(右) 弓矢が登場して、狩りの方法も変化。
(下) 土器につけられた、人の顔の飾り。安産や子孫繁栄の願いを込めたもの。



顔面把手



石器

119 子孫繁栄を願って 浅間林遺跡の石棒

●せんげんばやしせきのせきぼう

表面が丁寧に磨かれたり、文様が彫られたりしているおまじないの道具。



108 「おせんべい土器」なんて呼ばれたり 木島遺跡の「木島式土器」

●きじまいせきの「きじまいきどき」

とても薄く作られている縄文土器が出土。木島遺跡で初めて見つかったので「木島式土器」と命名。



米づくりとリーダーの出現 ～弥生時代

浮島ヶ原の沿岸部で、水田での米づくりが始まった弥生時代。集落の結束が強まり、人々をまとめるリーダーが現れました。

【写真提供：富士市】

102 住みやすいのが一番 高德坊遺跡

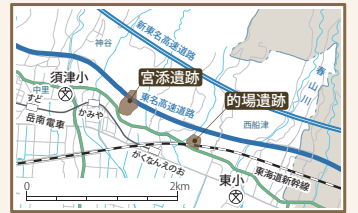
●こうとくぼういせき

長く住み続けられた集落。高台にあって、安心・安全。

050 目的は防衛か区画か 宮添遺跡

●みやぞえいせき

集落の北側に掘られた長さ60m以上の溝は、内と外を区別する、住人の結束の証。



045 今日のご飯もおいしく炊けたよ！ 的場遺跡の弥生土器

●まとはいせきのやよいどき

浮島ヶ原で米づくりをした集落。台付きの甕(左端)は、お米の調理に最適な形。



121 リーダーのアクセサリー 中野遺跡のガラス玉

●なかのいせきのがらすたま

お墓から見つかった、弥生時代にはとても珍しいガラス製の勾玉と小玉。



120 西の方から来ました 清水岩の上遺跡の弥生土器

●しみずいわのうえいせきのやよいどき

壺の形や文様などが、静岡県中部で多く出土する「菊川式土器」と共通。



世紀	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和			

ここ！

世紀	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和			

ここ！

浮島ヶ原周辺の古墳文化



古墳時代、浮島ヶ原の周辺では人々が活発に活動し、多くの古墳がつくられ、豊かな文化が育まれました。

浅間古墳の上空から浮島ヶ原を望む

051 東海地方で最大級の前方後方墳 浅間古墳

●せんげんこふん
4世紀前半ごろにつくられた前方後方墳。浮島ヶ原や駿河湾からよく見えるよう計画的につくられた富士市域で最初の首長墓【国指定史跡】。



立体図化された浅間古墳の前方後方墳の墳丘

東坂古墳の出土品



056 棺には大刀と鏡と玉 東坂古墳

●ひがしざかこふん
浅間古墳の次につくられた首長墓で、前方後円墳。銅鏡や精巧な石製品などが出土【富士市指定有形文化財】。

032 我が道を行く形 庚申塚古墳

●こうしんづかこふん
5世紀後半から6世紀前半につくられた、双方中方墳という珍しい形の古墳【静岡県指定史跡】。

033 埴輪、始めました。 山の神古墳

●やまのかみこふん
6世紀前半から中ごろの、この地域で最初に埴輪を取り入れた前方後円墳【富士市指定史跡】。



山の神古墳の埴輪



009 黄泉への旅立ちも船とともに 沖田遺跡の準構造船

●おきたいせきのじゅんこうぞうせん
4世紀ごろ、浮島ヶ原で使われた船の部材。水上の道として浮島ヶ原を利用した人たちの棺に作り替えられたもの。



船と一緒に出土した鏡

046 多くの人が古墳をつくるようになりました 船津古墳群

●ふなつこふんぐん
あしたかやま 愛鷹山の南西麓、春山川の両岸につくられた約200基の古墳のまとまり。

047 横穴式石室が残っています 稲荷塚古墳

●いなりづかこふん
春山川東岸につくられた円墳【富士市指定史跡】。稲荷塚古墳の周辺は古墳の密集地帯。



世紀	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生		古墳		飛鳥	奈良		平安		鎌倉	室町	桃山	江戸	明治	昭和	平成	令和		

052 須津川沿いに群集する古墳たち 須津古墳群

●すどこふんぐん
愛鷹山の南西麓、須津川の流域につくられた古墳のまとまり。古墳の数は、消滅したものも含めて、約200基。中里（須津川西岸）、神谷（須津川東岸）、増川の3グループにわけられる。

053 須津古墳群・中里グループのリーダー 琴平古墳

●ことひらこふん
6世紀後半につくられた円墳。須津川西岸の古墳群をつくった集団の首長墓【静岡県指定史跡】。



054 須津古墳群・神谷グループのリーダー 千人塚古墳

●せんになづかこふん
7世紀中ごろにつくられた円墳【富士市指定史跡】。静岡県東部で最大規模の横穴式石室をもち、飛鳥の王権とのつながりを示す副葬品が出土。



世紀	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生		古墳		飛鳥	奈良		平安		鎌倉	室町	桃山	江戸	明治	昭和	平成	令和		

浮島ヶ原周辺の生業と景観

駿河湾と浮島ヶ原、そして愛鷹山。
人々は、土地にあった営みをし、また、
より良い暮らしのために土地を改良して、
この地で暮らしてきました。

愛鷹山

浮島ヶ原

駿河湾

駿河湾の上空から浮島ヶ原・愛鷹山・富士山を望む【写真提供：富士市】

古墳時代には、浮島ヶ原や駿河湾での漁業、浮島ヶ原近くでの稲作、愛鷹山での馬の飼育や、木材の加工、鉄製品の生産などが行われていたことが、古墳や遺跡の出土品からわかります。

048 愛用品は身につける派 船津L-第62号墳

●ふなつるだいの62ごうふん
愛鷹山のふもと、船津につくられた古墳。装身具や武器、馬具とともに、鉄製品の生産・加工に使う砥石が出土。



ひもを通して
上げられる小さな砥石

001 沼地の縁で米づくり！ 沖田遺跡

●おきたいせきのすいでん
古墳時代の水田が出土。あぜは、板や杭を使わず、土を盛ったもの。



りょう
漁のおもり
（網は復元したもの）

034 網を使って魚とり！ 三新田遺跡

●さんしんでんいせき
田子浦砂丘上にいとなまれた集落で、漁に使う網につける土製のおもりが出土。



馬に
たづなをつけたり
人が足を乗せたり
する道具です

052 愛鷹山に名馬あり！ 須津古墳群

●すどこふんぐん
愛鷹山のふもと、須津古墳群では、実用的な馬具が多く出土。



浮島ヶ原では、江戸時代の終わり頃から明治時代にかけて、水田を広げ、生活を守るための治水工事が行われました。

035 あきらめなかった14年間 天文堀跡

●てんもんぼりのあと

036 生家の隣に立つ記念碑 天文堀の碑

●てんもんぼりのひ

江戸時代の終わり頃、大雨による水害から三新田地区の水田を守るため、高橋勇吉が私財を投じてつくった排水路。「天文堀」のおかげで、その後の三新田地区は豊作続き。



天文堀跡に建つ石碑

037 私財をなげうって 増田平四郎の像

●ますだへいしろうのぞう

原（沼津市）の増田平四郎は、浮島ヶ原の水を直接海に放流するため、排水路「すいほし」を建設。しかし、完成した年に台風の影響で大破。74年後の1942（昭和17）年、同じ場所に「昭和放水路」が完成し、平四郎の悲願がようやく実現。



081 愛称は「六ツ眼鏡」 石水門の石碑

●せきすいもんのかきい

1885（明治18）年、吉原凌の沼川河口に、海水の逆流を防ぎ、周辺の農地を守るためにつくられた「石水門」。1961（昭和36）年に田子浦港が整備されるまで活躍。



「すいほし」と同じ役目を果たす昭和放水路を見守っています。

泥ニモ負ケズ 浮島沼周辺の 農耕生産用具

●うきしまぬましゅうへんのうこうせいさんようぐ

胸までに泥につかって田植えをするような「ドブツタ」でも作業がしやすいように、泥が抜けたり、泥に沈まないように工夫された道具【静岡県指定有形民俗文化財】。



アーラオコシ

オオアシ

ナンバ



「ドブツタ」での田植えの様子



世紀	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	桃山	江戸	明治	昭和	平成	令和				

ここ！

ここ！

富士山南麓の古墳文化とその後の地域開発

伝法地区の周辺では、6世紀の初めごろから、古墳が
つくられるようになります。渡来人に由来する技術
をもつ人々が、富士山南麓地域の開発を行いました。

伊勢塚古墳

022 伝法古墳群の始まり 伊勢塚古墳

●いせづかこふん
6世紀の初めごろ、富士山南麓に最初につくられた古墳。直径54mの円墳で、埴輪や人形の破片が出土【静岡県指定史跡】。

023 渡来系技術者集団のリーダー 中原第4号墳

●なかはらだい4ごうふん
6世紀後半、東駿河地域で横穴式石室を最初にとり入れた円墳。石室から、鉄製の農工具や針、鉄の生産に使う道具などがふくまれる多種多量の品が出土【静岡県指定有形文化財】。



中原第4号墳の農工具・生産用具

092 広見公園内に移築・復元 横沢古墳

●よこざわこふん
6世紀末から7世紀初頭につくられた古墳で、中原第4号墳に続くリーダーのお墓。

002 おしゃれな玉は外国産 国久保古墳

●くにくぼこふん
7世紀初めごろの横穴式石室で、「鉄鐙」と「雁木玉」という珍しい品が出土。「鉄鐙」は鈴のようなもので、鉄製品の生産技術を持つ渡来人に関係する品物。「雁木玉」は4色のガラスでつくった直径1センチほどの玉で、身を飾るアクセサリ。



雁木玉

024 権威を示す「ヒミツの武器」 東平第1号墳

●ひがしひらだい1ごうふん
7世紀ごろにつくられた横穴式石室の古墳。全国でも珍しい「丁字形利器」をはじめとする多数の品が出土【静岡県指定有形文化財】。丁字形利器は朝鮮半島の武器をもととする儀礼の道具で、渡来系の人々に関わる品物。



丁字形利器

8世紀の初め、天皇を中心とした国家のしくみに
地方が組み込まれると、伝法地区には「駿河国富士郡」の役所がおかれました。しかし、この地を開発してきた人々のリーダー層も、引き続き指導力を持ち続けたようです。



当時の富士市（境は推定）



025 駿河国富士郡の中心地 東平遺跡

●ひがしひらいせき
富士郡の役所がおかれた場所。ひさしのある大きな建物や倉庫群、多数の竪穴住居が見つかり、文字が書かれた土器や、墨をする硯、役人の帯（ベルト）の金具なども出土した。

010 特産品が集まります 舟久保遺跡

●ふなくぼいせき
「倉」と書かれた土器が出土。都へ税として納める品物などが集められる、役所に関係する倉庫かも。



底に「布自（フジ）」と書かれた土器

068 元場所で修復・保存 実円寺西第1号墳

●じつえんじにしだいいちごうふん
7世紀前半ごろにつくられた、全長約11m、高さ約2.5mの大型の横穴式石室をもつ円墳【富士市指定史跡】。



026 仏教文化が花ひらく 三日月庵寺跡

●みづかいはいじあと
郡の役所（東平遺跡）の近くに建てられた寺院。蓮の花の文様がついた軒瓦など、8世紀前半につくられた瓦が多く出土。



ふじかく展示中

107 飛鳥の大刀は自慢の一品 一色D-第35号墳

●いつしきでいだい35ごうふん

027 先祖に恥じない仕事を 西平第1号墳

●にしだいらだい1ごうふん
8世紀初めごろにつくられた古墳。大刀や蕨手刀、帯（ベルト）につける金具などが出土。帯金具は、郡の役人の中でも長官クラスの役職を示すセット。天皇を中心とする新しい政治になっても、地元のリーダー層が地域をまとめる立場にあったことがわかる品。

8世紀初めごろの古墳。帯（ベルト）の金具や小刀などの役人が使う道具とともに、飛鳥でつくられたとみられる大刀の金具が出土。



帯金具（ベルトは復元）



ふじかく展示中

世紀	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和					

ここ！

109 役人が僧侶が眠るお墓？

妙見古墳群

●みょうけんこふんぐん

8世紀初めごろにつくられた古墳の横穴式石室から、骨壺のような蓋つきの壺が出土。仏教文化がもたらした、新しい埋葬方法「火葬」を取り入れた古墳。



100 郡の役所に関係する集落

天間代山遺跡

●てんまだいやまいせき

奈良・平安時代の建物跡から、文字が書かれた土器や墨をする硯に使われた土器などが多く出土。

001 耕作には牛や馬も動員

沖田遺跡

●おきたいせきのすいでん

国家が定めた基盤目状の土地区画（条里制）によってつくられた水田が出土。

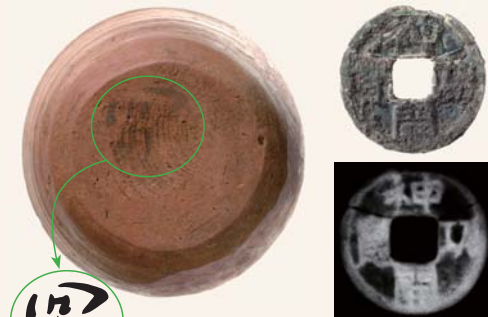


028 大事なお金を落としましたよ！

中桁・中ノ坪遺跡

●なかけた・なかのつばいせき

郡の役所（東平遺跡）の西側に発展した集落。奈良・平安時代に国家が発行した「皇朝 十二銭」のひとつ「神功開寶」や「富」と書かれた土器が出土。



X線で「神功開寶」の文字がはっきり！
「富士郡」の「富」かも？

069 役所の一部がおかれた？

宇東川遺跡

●うとうがわいせき

役人が帯（ベルト）につけた石の飾りや、墨をする硯、小刀、文字が書かれた土器などが出土。



国家によって、中央と地方をつなぐ大きな道路が整えられ、他の地域との交流がますます活発になり、多くの集落が発展します。

034 駿河と甲斐の民が交流する集落

三新田遺跡

●さんしんでんいせき

田子浦砂丘（砂礫洲）上の東海道沿いに発展した集落。甲斐国で作られた土器や、甲斐国の有力氏族である三枝氏の名が書かれた土器などが出土。



「三枝」の文字が書かれています。



110 緑色の器は高級品！

破魔射場遺跡

●はまいばいせき

現在の富士川桑座（東名高速道路富士川SA）の周辺に広がっていた集落。浅間林遺跡と同様に富士川流域での交流により発展。「緑釉陶器」と呼ばれる、緑色の釉薬がかかった陶器が出土。



ふじかく展示中

050 根方街道沿いに発展

宮添遺跡

●みやぞえいせき

奈良・平安時代に国家が発行した「皇朝十二銭」のうち、708年発行の「和同開珎」と、907年発行の「延喜通寶」が出土。



「和同開珎」



「延喜通寶」

ふじかく展示中

富士市域を通る古代の道



世紀	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	桃山	江戸	明治	昭和	平成	令和				

ここ！

もっと知りたい！

富士の古墳文化
(PDF 28.2MB)

富士を掘る
足もとに眠る富士市の遺跡
(PDF 16.5MB)



繰り広げられた戦い

頼朝と曾我兄弟 ～源平合戦前後の富士地域

源氏と平氏の戦いのひとつ「富士川の戦い」は、富士市を流れる富士川を舞台に起こりました。市内には戦いに関わる史跡や、源・頼朝と家臣たちの伝説がたくさん残っています。

勝川春亭（江戸時代）の浮世絵「富士川合戦」

003 源氏軍が攻めてきた！ 平家越

●へいけごえ

水鳥が飛び立つ音に驚いた平氏軍が逃げ帰った場所。



070 さっぱりしました 鎧ヶ淵

●よろいがふち

源頼朝が脱いだ鎧をこの淵の岩にかけて体を洗ったという場所。



※この地図には「頼朝と曾我兄弟～源平合戦前後の富士地域」に関連する文化財のうち、本文で紹介していないものも表示しています。

071 笛が鳴ったら全員集合！ 呼子坂

●よびごさか

源氏軍がこの上から呼子（笛）を吹いて兵を集めたという、清岩寺の門前にある坂。

011 その名は地名にも残る 和田神社

●わだじんじや

富士川の戦いの際にこの周辺を守った頼朝の家臣・和田義盛をまつる神社。

072 腹が減っては戦はできぬ 飯森浅間神社

●いもりせんげんじんじや

源氏軍が戦いのための食糧を置き、兵が守っていた所。「飯守明神」とも。

058 ここを本陣とする！ 寒竹浅間神社

●かんちくせんげんじんじや

源氏軍が本陣を置いたという場所。



059 56億7千万年後に残すために 医王寺経塚

●いおうじきようづか

平安時代の終わりが、世の中が乱れるのは仏の教えが衰えたためであるという考えに基づき、弥勒菩薩の救いが訪れる時まで大切な経典を保存するために、銅製の容器に入れて地中に埋めたもの【富士市指定有形文化財】。



【所蔵：医王寺】

鎌倉幕府を開いた源頼朝は、富士山のふもとで、幕府の武力を世間に示すために「富士の巻狩」を行いました。この時、曾我十郎と五郎の兄弟が父のかたきを討つ事件が起こり、江戸時代にその伝承地が整備されました。



101 馬も力が入りました 曾我の馬蹄石

●そがのばていし

かたきがある方向をにらんでいた兄弟の馬のひづめの跡がついたという石。

094 そんな話を聞くなんて がっかり橋

●がっかりばし

兄弟を心配してこの地へ来た十郎の恋人・虎御前が、兄弟の死を知った時に立っていたという橋。

095 悲しくて立てられない 虎御前の腰掛石

●とらごぜんのかしかけいし

兄弟の死を知って泣き崩れた虎御前が腰を下ろしたという石。



説明板の左下にある石が「虎御前の腰掛石」

世紀	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	桃山	安土	江戸	明治	昭和	平成	令和			

繰り広げられた戦い



曾我八幡宮に奉納された曾我兄弟の絵馬
【所蔵：曾我八幡宮】

089 兄弟が共に眠る 曾我寺（福泉寺）

●そがでら（ふくせんじ）

曾我兄弟のお墓があるので、通称「曾我寺」。正式名は「鷹岳山福泉寺」。

090 親を思う心に頼朝感動 曾我八幡宮

●そがはちまんぐう

事件から4年後に源頼朝が建立させたと伝わる、兄弟をまつる神社。



もっと知りたい！

富士市の歴史文化探訪 曾我伝説 (PDF 9.7MB)

富士山かやぶミュージアム 【調査研究報告】のページ (6. 企画展関連資料) 及び調査研究ノート

令和3年度冬のテーマ展 富士のふもとのかまくら時代 史跡伝説あれこれマップ (PDF 31.9MB)

ここ！

今川・武田・北条の戦い



室町時代の後半、富士市が位置する東駿河は今川氏の勢力が強い地域でしたが、甲斐の武田氏・相模の北条氏との間で、領地をめぐる争いがたびたび起きました。

北条氏康像

【所蔵：早雲寺、画像提供：箱根町立郷土資料館】

今川義元像【所蔵：臨濟寺】

武田信玄騎馬像【所蔵：法源寺】

012 「河東第一之伽藍」と呼ばれるほど

善得寺跡（善得寺公園）

●ぜんとくじあと（ぜんとくじこうえん）

今川氏の官寺として繁栄したお寺。幼少期の今川義元が仏門に入り、太原雪斎のもとで学んだ場所。今川氏の拠点だったが、武田軍に攻められ衰退。現在は公園となり、歴代住持のお墓（善得寺墓群）だけが残存。

013 義元の教育係で参謀

太原雪斎の墓

●たいげんせっさいのはか

太原雪斎は善得寺の住持をつとめ、「甲相駿三国同盟」を提案。善得寺墓群にある【富士市指定史跡】。

014 善得寺の開祖

大勲策禅師の墓

●だいくんさくぜんじのはか

大勲策禅師は14世紀後半に善得寺を開いたとされる僧侶。善得寺墓群にある【富士市指定史跡】。



太原雪斎の墓

大勲策禅師の墓

先がとがった卵形のような独特の形は、僧侶のお墓の特徴です。

015 多くの古文書が残る

東泉院跡

●とうせんいんあと

今川義元と氏真の親子二代に仕え、厚く信頼された僧・雪山が初代住持をつとめた寺院。1868（明治元）年まで存続。吉原公園に宝蔵が残る【国登録有形文化財】。



東泉院の宝蔵

すていふ雪山
HUNTER

北条氏が今川領に攻め込んだ時、雪山は人質として北条方に捕らえられました。しかし、機転をきかせて脱出し、今川義元のもとへ戻りました。

浅間神社五社を管理する職を、再び認めていただいた！

雪山

すていふ雪山
HUNTER

武田氏が駿河国を支配した後も今川氏真に仕え、越後国（新潟県）の上杉謙信に北から甲斐国を攻めるよう求める、という重大な交渉を任せられました。

しかし、上杉軍は動かなかった・・・無念。

雪山

すていふ雪山
HUNTER

駿河国が豊臣秀吉の領国になると、秀吉との直接交渉の結果、東泉院の領地がこれまで通りに認められました。

上様もご機嫌がよく、親しく言葉をかけていただいた。これで安心。

雪山

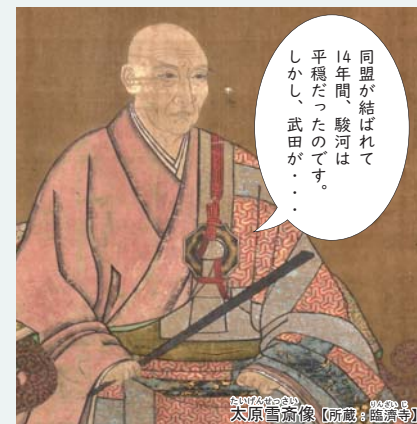
こうそうすんさんごくどうめい「甲相駿三国同盟」

たいげんせっさい 太原雪斎が提案！

へいおん 東駿河に平穏を！

こんいん 婚姻で絆を結ぼう！

※ 善得寺に三将が集結！？



同盟が結ばれて14年間、駿河は平穏だったのです。しかし、武田が・・・

太原雪斎像【所蔵：臨濟寺】

※ 後世の軍記物の創作とされますが、地元では長く言い伝えられてきました。

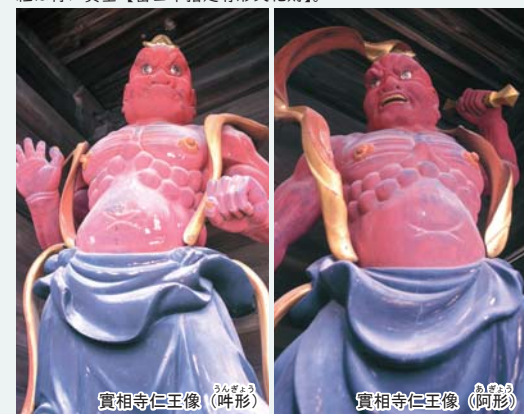


103 にらみをきかせる仁王様

實相寺

●じつそうじ

武田氏による駿河侵攻の際に焼失し、1600年前後に再建。現在の本堂は1955（昭和30）年の火災の後に再建されたもの。仁王門の木彫仁王像1対、一切経蔵の木彫七福神、経蔵に収められた一切経は特に貴重【富士市指定有形文化財】。



實相寺仁王像（吽形）

實相寺仁王像（阿形）

016 おさえるべき交通の要所

吉原湊

●よしわらみなと

潤井川・沼川・和田川が駿河湾に注ぎ込む場所、現在の田子浦港。1601年までは湊を渡る渡船があり、地元の有力者・矢部氏に管理が任されていた。

038 今はあとかたもない

吉原城（天香久山砦）

●よしわらじょう（あまのかぐやまとりで）

吉原湊の東側に築かれた、駿河を攻める北条軍の拠点となった場所。今川軍に攻められ、落城。



世紀	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生		古墳	飛鳥	奈良		平安		鎌倉	室町	徳川	江戸	明治	昭和	平成		

ここ！

文化が交わる縄文時代

土器をつくり、集落に定住するようになった縄文時代。出土する縄文土器や石器からは、遠くの地域の人とも交流していたことがわかります。

破魔射場遺跡と東名高速道路富士川SA [写真提供: 静岡県埋蔵文化財センター]

099 いろんなタイプがそろってます

天間沢遺跡

●てんまざわいせき

「曾利式土器」や「加曾利E式土器」が多く出土する、富士市を代表する縄文時代の遺跡。



069 遠くの産地から届きました

宇東川遺跡

●うどうがわいせき

伊豆の天城地区、伊豆諸島の神津島地区、長野の霧ヶ峰地区で採れた「黒曜石」の原石と矢じりが出土。



天城

神津島

霧ヶ峰

119 自然界の精霊を表現した文様

浅間林遺跡

●せんげんばやしせき

4,500～5,000年前に作られた「曾利式土器」の深鉢が出土。口の直径43.5cm、高さ54cmの、とても大きな縄文土器。



111 おしゃれな縄文美人 駿河山王遺跡の黥面土偶

●するがさんのういせきのげいめんどうぐ

およそ3,000年前に作られた土偶（おまじないの人形）の頭部が出土。顔に黥（いれずみ）をして髪を結った女性の姿。

ふじかく展示中



外側が丁寧にみがかれた急須のような形の「注口土器」が出土。

ふじかく展示中

110 今昔も人にてぎわう 破魔射場遺跡

●はまいばいせき

現在の富士川楽座（東名高速道路富士川SA）の周辺に営まれた集落。縄文時代から現代まで人が行き交う交通の要所。



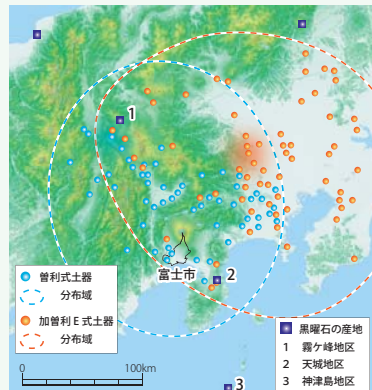
060 お酒などを注ぐ特別な器かも？

赫夜姫遺跡

●かぐやひめいせき

縄文人の交流関係

富士市域では、山梨・長野県域に集中する「曾利式土器」と、関東地方に分布する「加曾利E式土器」が多く出土する。「黒曜石」は長野県域や伊豆諸島からもたらされた。



各土器の分布図は、小林達雄編『縄文土器』（アム・プロモーション、2008年）所収の各論考を参考に作成した。地形図は、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を用い、カシミール3Dを使用して作成した。



世紀	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	桃山	江戸	明治	昭和	平成	令和				

ここ！

近世東海道と宿場・間宿

江戸（東京都）の日本橋と京（京都府）の三条大橋を結ぶ街道「東海道」。富士市には1つの「宿場」と、3つの「間宿」があり、多くの旅人でにぎわいました。

宿場 旅人を泊める宿や、荷物を運ぶ人や馬が用意されている集落。

004 東海道14番目の宿場

吉原宿

●よしわらしゆく
沼津市の「原宿」と静岡市の「蒲原宿」の間の宿場。自然災害により、2回移転。（→30ページ）

間宿 宿場と宿場の間の休憩所。茶屋などのあるが、宿泊は禁止。

039 おすすめは「うなぎ」！

間宿・柏原

●あいのしゆく・かしわばら
「原宿」と「吉原宿」の間の休憩所。多くの旅人が「うなぎのかば焼き」の香りに引き寄せられてひと休み。

078 「白酒」が名物！

間宿・本市場

●あいのしゆく・もといちば
「吉原宿」と「富士川渡船場」の間の休憩所。「白酒」は「加島五千石」と言われたお米の生産地ならではの名物。

112 「栗ノ粉餅」を食べよう！

間宿・岩淵

●あいのしゆく・いわぶち
「富士川渡船場」と「蒲原宿」の間の休憩所。大名が休憩するための「小休本陣」も置かれた特別な間宿。

114 長旅のお殿様もほっと一息

小休本陣常盤家住宅

●こやすみほんじんときわけけいゆうたく
富士川渡船の名主と岩淵村名主の両方をつとめ、大名が休憩する格式ある「小休本陣」もつとめた常盤家。現存する主屋は、江戸時代の終わりに建てられたもの【国登録有形文化財】。



本市場の名物「白酒」を楽しむ旅人
歌川広重の浮世絵「東海道五十三次之内 吉原」

一里塚 主要な街道に1里（約4km）ごとに置かれた目印。道の両側に土を盛って塚をつくり、榎や松などを植えたもの。

040 うなぎ美味しかったなあ

柏原一里塚跡

●かしわばらいちりづかあと

079 もうすぐ富士川

本市場 一里塚跡

●もといちばいちりづかあと

017 名所・左富士を過ぎて

依田橋村 一里塚記念碑

●よだばしむらいちりづかねんひ

113 多くの旅人を見守って

岩淵の一里塚

●いわぶちのいちりづか
日本橋から37里目の一里塚【静岡県指定史跡】。樹木は「榎」。



道の西側の一里塚



富士川舟運と渡船

江戸時代、富士川に橋はなく、人々は船で渡りました。富士川は、駿河と甲斐を結ぶ「川の道」でもありました。

岩淵の河岸場（明治時代）

115 あの明かりをめざして行けば

富士川渡船場常夜燈

●ふじかわとせんぱじょうやと
夜に渡る船のため、目印に明かりをつけた常夜燈。

083 暗い夜でもだいじょうぶ

水神社の常夜燈

●すいじんじやのじょうやと
東岸の渡船場にあった常夜燈。

116 甲斐と駿河をつなぐ舟運

角倉了以紀功碑

●すみのくらりょういきこうひ
甲斐国から荷物を運ぶ船を運行させるために、富士山頂に鳥居を奉納する岩淵地区の行事【富士市指定無形民俗文化財】。岩淵八坂神社の氏子を中心に講（団体）を構成。

117 江戸から現在まで受け継がれる

岩淵鳥居講

●いわぶちとりいこう
12年に1度の申年に、渡船をつくる木材を富士山麓からいただいたお礼と安全祈願のために、富士山頂に鳥居を奉納する岩淵地区の行事【富士市指定無形民俗文化財】。岩淵八坂神社の氏子を中心に講（団体）を構成。

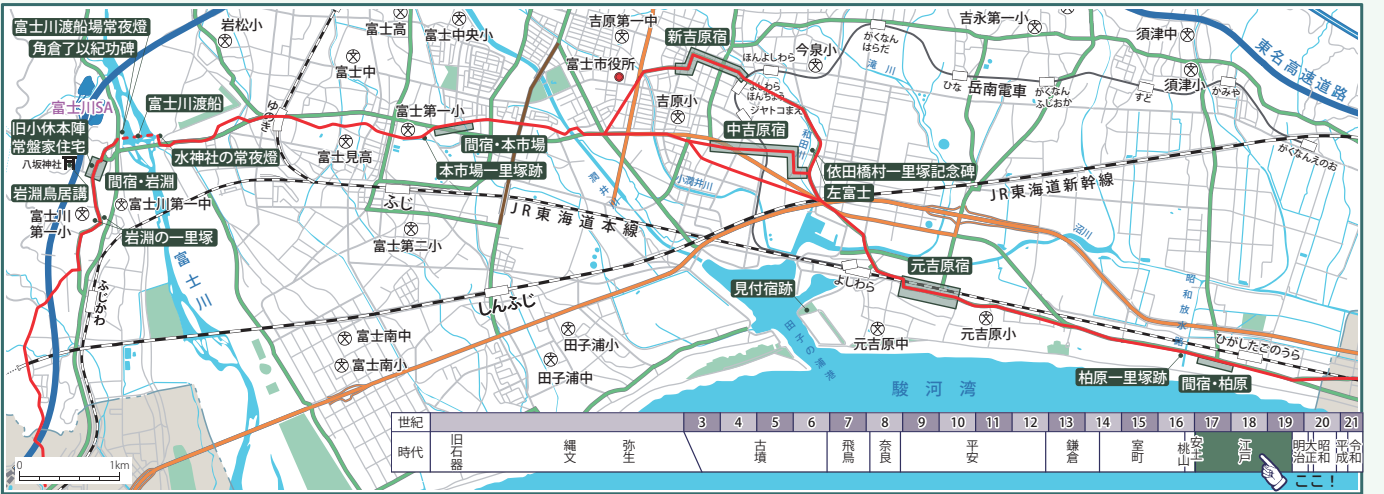


渡船で富士川を渡る旅人たち

歌川広重の浮世絵「五十三次名所図会 十六 蒲原 岩淵の岡より不二河眺望」



2014（平成16）年に奉納され、2016（平成28）年に下ろされた鳥居が、富士山かぐや姫ミュージアム2階入口に展示されています。



噴火とともに生きた人々

富士市の北に美しい姿を見せる富士山は、私たちに親しみ深い山であるとともに、時に噴火して人々の生活をおびやかす荒ぶる山でもあります。

宝永噴火

●ほうえいふんか

1707年に富士山頂の南東側で起きた噴火。この時の元号が「宝永」だったため「宝永噴火」と呼ばれる。富士市域には大きな被害はなかったものの、空高く噴きあがった火山弾や火山灰が風で東に飛び、現在の御殿場市や小山町に大きな被害を与え、さらに火山灰は東京都や埼玉県、千葉県にまで飛来した。

富士市の富士山には欠かせない

宝永山

●ほうえいざん

「宝永噴火」によって誕生した側火山。火口の周辺に堆積した火山灰や、火山弾（噴き出した溶岩が飛行中に冷えて固まった塊）で形成。

いろんな姿をしています

富士山の溶岩標本

●ふじさんのようがんひょうほん

ラグビーボールのような形のものや、どろどろと流れる姿で固まったもの、しづきが固まったように表面がとがっているもの、全体に細かい穴があいたものなど、色も形も質感もさまざま。

噴火は16日間続いた

富士山宝永噴火絵図「夜ル乃景気」【所蔵：個人】

原の宿場（沼津市）の人が宝永噴火の様子を絵と文で記録したもの。上の図は夜の様子で、次のようなことが記されています。
「毎夜稲光りのように伊豆の天城山辺りまで光渡った」
「噴火初め11月23日から12月8日の夜まで毎夜このように見えた
ただし23日噴火初めの夜はとりわけ大きく家の戸はめを鳴らす
その朝（4時頃）に原の宿場に焼灰が降った ただ一度だけだった」

058 噴火の力が見える場所

寒竹浅間神社

●かんちくせんげんじんじや

浅間神社は富士山をご神体としてまつる神社。本殿の背後にそびえる岩壁は、約1万年前の富士山噴火の溶岩流が固まったもの。



富士市の遺跡では、5世紀の終わりごろに、富士山の南側から噴き出したとみられる火山噴出物「大淵スコリア」が厚く積もっている様子を確認できることがあります。

050

宮添遺跡

●みやぞえいせき

古墳時代の建物の跡に、「大淵スコリア」が積もった様子を発掘調査で確認。



白く見えるものが「大淵スコリア」

041

柏原遺跡

●かしわばらいせき

田子浦砂丘（砂礫洲）上に営まれた集落。15cm以上の厚さで積もった「大淵スコリア」の下から、たくさんの土器が出土。



「大淵スコリア」とその下から出土した土器

噴火災害からの復興の象徴

055

天神塚古墳

●てんじんづかこふん

6世紀の初め頃の（前方後）円墳。「大淵スコリア」に埋もれた集落の上につくられた、噴火後の地域をまとめた首長の墓。



3世紀ごろから5世紀の終わりごろの土器が、古墳の盛土の中から出土し、盛土の下には「大淵スコリア」が積もっていました。



世紀	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土・桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和			

ここ！

ここ！

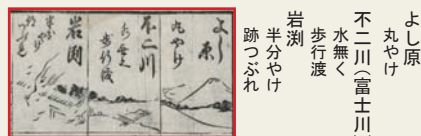
安政東海地震と幕末の国際交流

江戸時代の「ニュース速報」

東海道筋大地震大津波大出火

●とうかいどうすじおおおしんおおつなみだいしゅつか

安政東海地震・安政南海地震での各地の被害の様子を速報で伝えた「かわら版」。



【所蔵・画像提供：防災専門図書館】

1854年11月、「安政東海地震」「安政南海地震」と呼ばれる巨大地震が連続して発生し、日本の広い範囲に大変な被害をもたらしました。この時、ロシアの軍艦「ディアナ号」も伊豆の下田港で津波にあい、壊れた船の修理のため戸田港に向かう途中、強風と大波で流され、富士市宮島の沖に流れ着きました。沈没の危険が迫る中、宮島村の人々の救助活動により、乗組員およそ500人の命は救われました。

096 その物語を伝える「唐人のねっこ」ディアナ号の錨

●でいあなごうのいかり

乗組員が救助された後、再び風雨と大波にあったディアナ号は駿河湾に沈没。1976（昭和51）年に、水深24mの海底から引き上げられた錨【富士市指定有形文化財】。



錨はもうひとつ引き上げられ、旧戸田村（現・沼津市）に贈られました。奥に立つプチャーチン提督像は、そのお返しでいただいたものです。

093 宮島村の人々への感謝を込めて 友好の像 プチャーチン提督と日本の漁夫

●ゆうこうのぞう ぶちやーちんていとくにほんのぎよふ

ディアナ号の遭難の後、無事に結ばれた日露和親条約140周年を記念して、ロシアから贈られた銅像。広見公園に展示。



世紀	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土	江戸	明治	昭和	平成	令和
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土	江戸	明治	昭和	平成	令和

ここ！

暴れ川・富士川を治める

富士川は、大雨のたびに洪水となり、田畑を流してしまう「暴れ川」でした。堤防を築き、富士川を治める努力が繰り返されてきました。

【写真提供：富士市】

富士川を治める3つの堤防

084

雁の前身



備前堤

●びぜんづつみ

雁堤の中間で、富士川に向けて突き出すふたつの堤。徳川家康に仕え、治水・土木・開田などに力を発揮した、伊奈備前守忠次がつくったので「備前堤」。

085

雁が飛ぶ姿のよう



雁堤

●かりがねづつみ

古郡家三代により、50年以上の歳月をかけ、莫大な経費と治水技術をもって築かれた堤防【富士市指定史跡】。

080

ふたつの意味がすてきです



帰郷堤

●ききょうづつみ

安政東海地震の後、松岡の水神社より下流の堤防が大規模に決壊。被災した17の村が幕府に嘆願し、緊急工事が行われ、修復された堤。工事を指揮した土岐損津守の家紋が「桔梗」だったこと、この堤のおかげで人々が故郷に帰って来られたということから、「帰郷堤」。

086

その献身を忘れない



護所神社

●ごしょじんじや

雁堤を完成させるために、人柱となった巡礼者をまつる神社。



087

富士川と共に生きるために



水神社

●すいじんじや

富士川を守り、水害や水難を防ぐ水神をまつる神社。1646年に創建されたといわれています。

088

故郷に帰った喜びと感謝



不盡河帰郷堤之碑

●ふじかわききょうづつみのひ

帰郷堤が完成した1858年に、水神社内に建てられた石碑。

世紀	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土	江戸	明治	昭和	平成	令和
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土	江戸	明治	昭和	平成	令和

ここ！

海が迫る！ 高潮と宿場町

よしわらみなど
吉原湊（田子の浦港）周辺では、台風による高潮災害がたびたび発生しています。東海道の「吉原宿」は被害を受けて移転を繰り返し、明治時代にも多くの人命が失われました。



歌川広重の浮世絵「東海道五拾三次之内 吉原左富士」

移転を繰り返した吉原宿

042 このころは吉原湊を舟で渡りました

見付宿跡

鎌倉時代のはじめごろ、吉原湊の近くにおかれた宿駅。波や土砂の被害を受けて、室町時代の終わりに東側の今井村近く（元吉原宿）へ移転。



005 ここなら大丈夫だと思ったのに

中吉原宿

移転してから約40年後の1680年、江戸時代最強といわれる台風が引き起こした高潮のために一晩で破壊され、さらに北（新吉原宿）へ移転。



043 最初の吉原宿

元吉原宿

「見付宿」と今井村が一緒になり、1601年に東海道の宿場「吉原宿」に指定。1639年に砂や高波の被害にあい、北側の依田橋村近く（中吉原宿）へ移転。



006 江戸時代から続く旅館もあります

新吉原宿

移転を繰り返した吉原宿がようやく落ち着いた場所。現在の吉原本町通り。



007 江戸っ子も「ここだけ！」には弱い

左富士

東海道を東から西へ進む時、富士山は自分の右手側。しかし、吉原宿が北に移転して、東海道のルートが変わり、ここだけは富士山が左手側。災害から立ち直って生まれた名所。



現在の左富士

018 江戸時代の名前は「愚王子神社」

左富士神社

1680年の水害の時、周囲が海のようになった中で、この神社の「愚王子の森」だけが残り、舟で運ばれた140～150人がここに避難したと『田子の古道』に記されます。

082 悲しみを忘れない

海嘯碑

1899（明治32）年10月に起きた高潮災害で、田子浦村や元吉原村など海岸部が大きな被害を受け、亡くなった人を弔うために、鯉島の林正寺に建立された慰霊碑。



世紀																		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器時代	縄文時代	弥生時代	古墳時代			飛鳥時代	奈良時代	平安時代			鎌倉時代	室町時代	徳川時代	安土・桃山時代	江戸時代	明治時代	昭和時代	平成時代	令和時代																

歴史の語り部



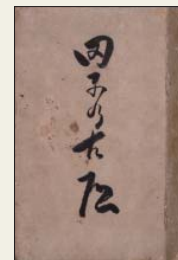
『田子の古道』

江戸時代中ごろの富士地域のことに書かれた本。吉原宿の災害と移転についても詳しく記された貴重な史料【富士市指定有形文化財】。

019 過去に学ぶために

義隄記碑

1680年の水害の様子を伝える石碑。左富士神社の境内に1755年に建立。



もっと知りたい！

過去に学ぶ
富士の災害史
（概要版）
（PDF 0.7MB）



紙のまち富士

手漉き和紙に始まり、機械による洋紙・和紙の生産で富士市の製紙業は発展してきました。工業化に伴う大気汚染やヘドロなどの公害問題を克服し、工場夜景も楽しめる「紙のまち」です。

日本製紙株式会社富士工場の工場夜景【写真提供：富士市】

075 内山治山の碑

明治時代になり仕事が激減した吉原宿や今泉村など17の村の人々は、愛鷹山西麓の内山を開墾し、茶や桑、和紙の原料となるミツマタなどの栽培を開始。

076 金原明善翁らの大規模植林地

1902（明治35）年から1905（明治38）年にかけて、金原明善翁と静岡県山林協会が植林事業を広めるため内山に造林。当時は東京ドームの約40倍の広さで、現在保存されているのはその一部【富士市指定史跡】。

020 「紙のまち」の始まり 今泉の「ガマ」

明治時代、栢森貞助の鉤玄社、内田平四郎の製紙研究所、芦川万次郎の製紙伝習所など、多くの手漉和紙工場が設立された、湧水の豊かな場所。



091 洋紙製造始まりの地 夜明けの像

1890（明治23）年に、富士市初の洋紙製造工場「富士製紙」が入山瀬の地につくられたとき、アメリカから輸入した機械に幸運のお守りとして添えられていた像を、1992（平成4）年、「鷹岡町」誕生100年の記念に、実物から型取りして設置。



073 世界に認められた富士の紙 原田製紙（跡地）

原田の永明寺南側にあった原田製紙は、1895（明治28）年に操業を開始した、富士市の製紙工場の草分け的存在。原田製紙の和紙を使った「佐野熊ナブキン」が1910（明治43）年の日英ロンドン博覧会で銀賞を受賞するなど、世界に通用する技術に。



（上）和紙生産を機械化した「原田製紙1号機」（2分の1サイズの模型）

（左）吉原の佐野熊次郎が原田製紙とともにつくり、世界に認められた「佐野熊ナブキン」



008 時代のニーズに応えます 岳南電車

1949（昭和24）年、製紙業のパルプや製品を輸送する貨物鉄道として開業。「岳鉄」と呼ばれて親しまれ、現在は、富士山や工場夜景を楽しめる電車として人気。

021 キノコ形の柱が屋根を支えます 岳南電車 本吉原駅

1950（昭和25）年につくられたプラットホームと、1968（昭和43）年につくられたホーム上屋はとても貴重【国登録有形文化財】。



世紀	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土・桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和	令和	令和	令和	令和	令和

ここ！

富士山信仰とかぐや姫



噴火を繰り返す富士山に、人々は神仏の姿を重ね、信仰してきました。富士市域には、修行者たちによって記された、富士山に宿る神仏の姿のひとつである「かぐや姫」が富士山に帰る、という物語が伝えられており、物語に関連する場所や地名が多く残っています。

かぐや姫誕生の地・滝川神社

074 滝川の浅間さん

江戸時代以前の名は「新宮」や「原田浅間社」。かぐや姫誕生の場所とされ、かぐや姫の養父である竹取の翁をまつっていることから、「父宮」とも。

061 姫の名を刻む

富士山の溶岩に支えられ、「竹採姫」と刻まれた、卵形の自然石。竹採公園内にある【富士市指定史跡】。



062 かぐや姫もお散歩したかも？

かぐや姫を育てた、竹取の翁が住んだ「竹取屋敷」があったとされる場所。

015 かぐや姫の物語を伝えた

吉原公園の場所に、1868（明治元）年まで存在した寺院。富士山に帰るかぐや姫の物語が記されるのが、この寺院に伝わった『富士山大縁起』。

063 駿河出身の名僧

白隠禪師は臨済宗 中興の祖といわれる名僧。白隠禪師が開いた無量寿寺が1868（明治元）年まで存在した場所が現在の竹採公園。公園内にお墓（供養塔）が残ります【富士市指定史跡】。



1872（明治5）年の浮世絵「書画五十三駅 駿河 吉原 竹取ノ古事」

029 岳南鎮守の神社

「三日市のお浅間さん」と呼ばれて親しまれる神社。江戸時代に書かれた『駿河新風土記』には、祭神として「赫夜姫」の名が記されます。境内にそびえる御神木のクスは目通り13mの巨木【静岡県指定天然記念物】。

031 養母をまつる神社

竹取の姫をまつていることから、「母宮」とも。境内にあるスギの木も見どころ【富士市指定天然記念物】。

058 かぐや姫が育った場所

竹取の翁と姫の屋敷があったとされる場所。「寒竹」とは小型の竹のことで、竹取の翁には「寒竹の翁」という別名も。

064 姫の名が付けられた地

かぐや姫が富士山に帰るときに通ったとされる小道。周辺の地名（小字名）は「赫夜姫」。

072 お料理上手そう

かぐや姫のお世話をした召使いの女性がまつられているという神社。

065 別れが悲しくて

富士山に帰るかぐや姫が、養父母や村人との別れを惜しんで何度も振り返った場所。周辺の地名（小字名）は「見返」。



寒竹浅間神社は「寒竹権現社」とも呼ばれ、周辺の地名を「権現原」といいます。



世紀	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和					

ここ！



受け取るめぐみ

富士の茶

富士市では、江戸時代の中ごろにはお茶の生産が重要な産業となり、現代に続いています。また、富士山を背景に広がる茶畑の風景は、国内外の人々をひきつけています。

大淵笹場の茶畑と富士山【写真提供：富士市】

066 世のため人のために 野村一郎をたたえる碑

●むらいちろうをたたえるひ
野村一郎は、比奈村の名主をつとめ、地域のために様々な事業をおこなった人。富士の茶業の発展にも貢献。



世紀	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	桃山	安土	江戸	明治	昭和	平成	令和			

ここ！

104 人々をひきつける風景 岩本の茶畑

●いわもとのかやばたけ
1918（大正7）年に発行された『富士郡茶業史』に、17世紀後半ごろから岩本村でお茶の生産を始めたという記述や、大淵村に樹齢300年を超えるお茶の木があったという記述があり、江戸時代の中頃には茶業が重要な産業となっていたようです。

再現された野村一郎の「天下一製法」

お茶好きの国も絶賛 天下一製法

●てんかいせいほう
野村一郎が開発した手もみ茶の製法。イギリスや中国の茶商人から「天下一品」と絶賛されましたが、機械による製法が行われるようになるとその技術は失われ、幻の製法に。



（上）イギリスと中国の茶商から野村一郎に贈られた「天下一品茶製所」の扁額【所蔵：個人】

（下）再現された「天下一製法」の手もみの技【写真提供：富士市】

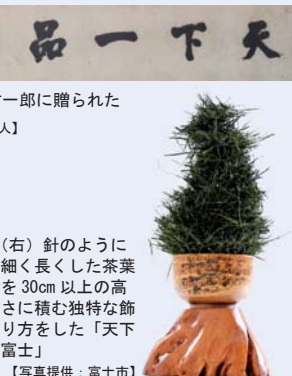


077 富士市の「顔」のような 大淵の茶畑

●おおぶちのかやばたけ
富士市茶手揉保存会が、野村一郎の「天下一製法」の再現に挑戦し、8年の歳月をかけて現代にのみがえらせた手もみ茶。

情熱が復活させた技 天下富士

●てんかふじ
富士市茶手揉保存会が、野村一郎の「天下一製法」の再現に挑戦し、8年の歳月をかけて現代にのみがえらせた手もみ茶。



（右）針のように細く長くした茶葉を30cm以上の高さに積み独特な飾り方をした「天下富士」【写真提供：富士市】

富士市の戦争を伝える場所



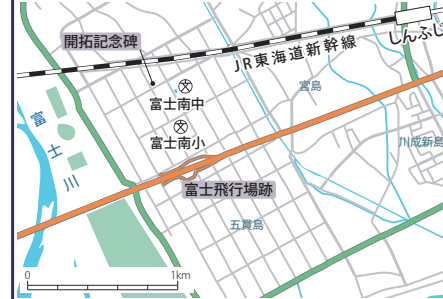
106 被爆二世のクスノキとアオギリ

●ひばくにせいのくすのき・あおぎり
原子爆弾の被害を受けた、長崎の「被爆クスノキ」と広島島の「被爆アオギリ」の種から発芽した苗木を、米の宮公園に植樹。



118 愛宕山の地下壕

●あたごやまのちかごう
1945（昭和20）年、アメリカ軍の上陸に備え、攻撃のための陣地として高台に建設された地下壕。



097 富士飛行場跡

●ふじこうじょう
パイロットや特攻隊の訓練が行われた陸軍の飛行場があった場所。暴風の目のような区画がそのなごり。

098 開拓記念碑

●かいたくきねんひ
富士飛行場として使われていた土地は、戦後の開拓で緑の田畑に。開拓事業10周年に建てられた記念碑。

105 燃料庫の地下壕

●ねんりょうこのちかごう
飛行機の燃料の油を保管する倉庫として掘られた地下壕。

030 空襲で破壊された鳥居跡

●くうしゅうではかいされたとりいあと
1945（昭和20）年4月、アメリカ軍が投下した爆弾により、破壊された中祈神明宮の鳥居の跡。爆風で近くの民家も破壊され、家族5人が犠牲に。



富士山かぐや姫ミュージアム (富士市立博物館)

●ふじさんかぐやひめみじあむ (ふじしりつはくぶつかん)
「富士に生きる」をテーマに、旧石器時代から近代まで、富士の地に暮らした人々の歴史や文化について知ることができる博物館。信仰の山・富士山と、富士山南麓を舞台にした「かぐや姫」の伝承についても紹介。



富士山かぐや姫ミュージアム



展示室1「富士に生きる」



展示室3「富士山とかぐや姫」

開館時間：9:00～17:00

休館日：月曜日(祝日をのぞく)
祝日の翌日
年末年始
(12月28日～1月4日)

観覧料：無料

このアイコンがついているものはここで見られます！



歴史民俗資料館 (博物館分館)

●れきしみんぞくしりようかん (はくぶつかんぶんかん)
駿河湾を臨む海岸から、河川による扇状地、浮島ヶ原の低湿地、富士山・愛鷹山の山麓に広がる富士市域の、それぞれの地に適した人々の「くらし」を紹介する資料を展示。「紙のまち」の歴史や、子どもの遊びと学び、近代の戦争とくらしについても紹介。



歴史民俗資料館



1階フロア「ドブツのあるくらし」



2階フロア「手すき和紙の工程」

開館時間：9:00～17:00

休館日：月曜日(祝日をのぞく)
祝日の翌日
年末年始
(12月28日～1月4日)

観覧料：無料

このアイコンがついているものはここで見られます！



富士川民俗資料館 (博物館分館・旧稲葉家住宅)

●ふじかわみんぞくしりようかん (はくぶつかんぶんかん・きゅういなばけいゆうたく)
南松野地区の旧家・稲葉家の住宅建物を移築し、農家の一年のくらしについて紹介。この建物は江戸時代(1720～1740年頃)に建てられたと考えられ、富士市内に現存するもっとも古い民家の可能性がある【富士市指定有形文化財】。



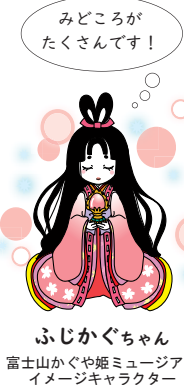
開館時間：9:00～17:00

開館日：土曜日・日曜日・祝日
※ただし、年末年始(12月28日～1月4日)は休館です。

観覧料：無料
※室内に上がることはできません。

もっと知りたい！

富士川民俗資料館
(旧稲葉家住宅)
ホームページ



ふじかぐちゃん
富士山かぐや姫ミュージアム
イメージキャラクター

広見公園ふるさと村 歴史ゾーン(屋外展示)

●ひろみこうえん ふるさとむられきしぞん (おくがいてんじ)
伝法に存在した横沢古墳(→8ページ)や、東平遺跡(→9ページ)で発掘された建物跡を復元して展示。富士市内に建てられていた江戸時代・明治時代の建物や道しるべなども移築・展示。



旧稲垣家住宅【静岡県指定有形文化財】



東平遺跡竪穴建物(復元)

このアイコンがついているものはここで見られます！



休園日：なし
※ 雨の日および博物館休館日は建物内の見学はできません
入園料：無料



杉浦医院【富士市指定有形文化財】

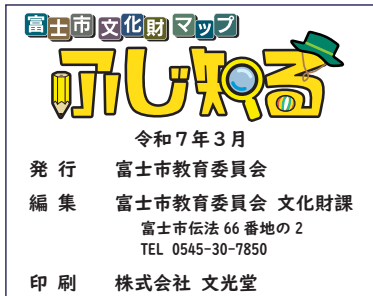


おわりに

富士市文化財マップ『ふじ知る』の文化財巡りはいかがでしたか？

実は富士市には、『ふじ知る』では紹介しきれなかった、まだまだたくさん文化財があります。皆さんが富士市の歴史や文化に興味をもって、身近にたくさんある文化財を見つけて、知って、大切に思う気持ち。それが、皆さんの暮らす地域や富士市を大切に思い、元気づけることにつながります。

『ふじ知る』がそのきっかけになったらいいな、と思います。



富士市行政資料登録番号 R6-52